

はじめよう!

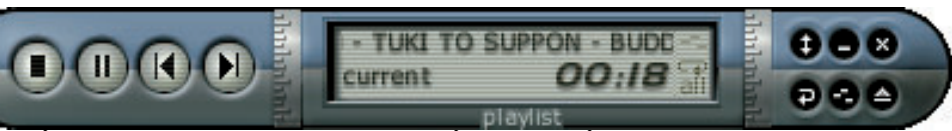
集中企画

MP3 からストリーミング放送まで

# インターネット的 音楽生活

今、インターネットには「音」があふれている。マスコミの報道をにぎわせているような違法コピーのMP3ファイルのことではない。著作権の問題なしに楽しめるダウンロードサイトやストリーミングサイト、気に入った曲をその場で購入できるサービスがとっくに登場している。かっこいいプレイヤーや最新の音声圧縮技術にも注目が集まっている。インターネットユーザーにとって音楽を楽しむことは、ウェブページや電子メールを利用するのと同じように当たり前のことになってきたのだ。

編集部



# インターネットで簡単に音を楽しめる時代がやってきた

## 完全にメジャーになったMP3

MP3と言えば、すぐに「違法コピー」を連想する人も多いだろう。しかし、MP3 (MPEG1 Audio Layer3) はISO (国際標準化機構) で標準化された規格であり、だれでも簡単に利用できるのが長所だ。この技術はもはやマニアの道具ではなくなった。アメリカではEMusic.comのように音楽データをMP3で販売するサイトが登場し、マイクロソフト、リアルネットワークス、アップルなどの大手ソフトウェア企業も自社のプレイヤーソフトでMP3再生をサポートし始めた。周辺機器メーカーは携帯用MP3プレイヤーを次々に発表している。MP3はだれもが楽しめる音楽生活のための技術になったのだ。

## 音楽なら今すぐに楽しめる

かつてインターネットでの放送と言えば、動画の配信が注目を集めていた。動画は将来にはインターネットでの有力なコンテンツとなるに違いないが、平均的なユーザーのインターネットへの接続速度が33.6Kbpsから64Kbpsの現在では、だれもが楽しめるというレベルには至っていない。しかしMP3の流行で証明されたように、音楽だけと割り切れれば今の環境でも十分に楽しめる。マイクロソフトのウィンドウズメディアテクノロジーのように、通信速度の遅い環境でも音楽を高品質で再生できる技術も登場している。

## ダウンロードとストリーミングを使い分けよう

ストリーミング番組を提供するサイトを試して、その音質の悪さに「インターネットの音楽ってこんなもの?」とがっかりすることもあるかもしれない。音質を重視したい場合は、ファイルをダウンロードしてからハードディスク上で再生すればいい。5分のMP3ファイル (5Mバイト程度) ならモデムでも10分少々でダウンロードできる。逆にBGMとして聴き流すだけの音楽ならストリーミングでも十分だし、リアルタイムのライブ放送にはストリーミングならではの楽しさがある。インターネット上の音楽は自分のスタイルに合わせた多様な楽しみ方ができるのだ。

## インターネットで音楽を楽しむための基本用語

### 圧縮

データの中の冗長な部分を計算によって縮めてサイズを小さくすること。音声データを圧縮すれば、短い時間でダウンロードしたり、ストリーミング再生をしたりできる。MP3などの音声専用の圧縮技術では、音声の中で人間の耳に聞こえない部分をカットして、さらにサイズを小さくできる。

### bps

1秒間に再生するデータの量は何ビットかを表す。音声データの「bps」は1秒あたりのサイズと考えればいい。たとえばある音声データが34Kbpsだとすると、56Kbpsのモデムでも途切れることなくストリーミング再生ができる。MP3では、128KbpsでCDに近い音質を再現できる。

### サンプリング周波数 (Hz)

アナログの音声をデジタルデータにする際に、1秒間に何回の割合で音声データを採るかを表す。この数字が大きければ音声データは高品質になる。音楽CDと同じ品質の44.1kHzの音声データは、1秒間の音声を44100分の1に分割して記録してある。

### ビット数

アナログの音声をデジタルデータにする際に、分割した音声をどのくらいの精度で保存するかを表す。16ビットの音声データは8ビットのものより2倍細かく記録してあることになる。音楽CDと同じ16ビットのデータなら高品質だ。

▶ それではさっそく聴きに行こう!

P.228

聴

P.234

遊

P.236

探

P.238

買

P.240

持

P.242

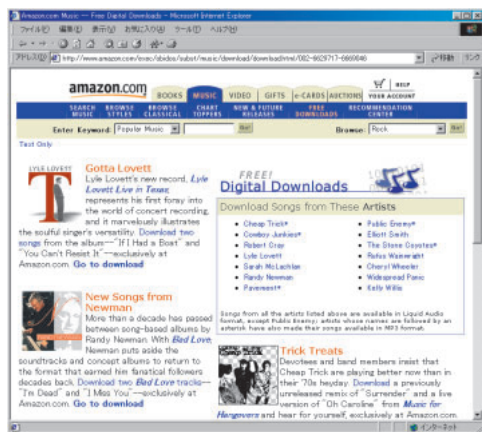
作





# MP3 ファイルをダウンロードして聴く!

アメリカではアーティストが公式に認めたMP3 ファイルを公開しているサイトは多い。まずはそういったサイトからダウンロードしてMP3 の扱いに慣れていこう。ここではダウンロードから実際に聴くまでを紹介する。MP3 未体験でも、今なら間に合う!



## Amazon.comのチープトリックのMP3 ファイルを楽しむ

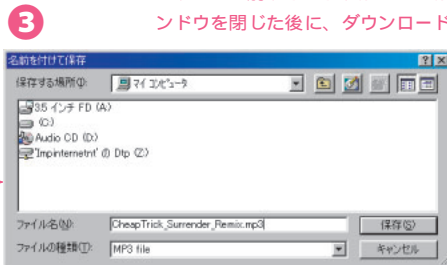
ここでは始まったばかりのamazon.comのダウンロードサービスを利用してみよう。現在、十数組のアーティストの曲をフルサイズで楽しむことができる。メジャーなアーティストが多いのもうれしいところだ。フォーマットに

はリキッドオーディオとMP3 が使われているので、インターネットで音楽を楽しみたい人にはぴったり。早速ダウンロードして聴いてみよう。トップページ上部のバーから「Music」「Free Download」で目的のページに行こう。

Amazon.com  
<http://www.amazon.com/>

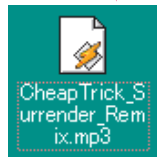


まずは上記 URL から、聴きたい曲をダウンロードしよう。右の囲みの中からアーティストを選んでクリックすると、ダウンロードページが出てくる。ダウンロードボタンはリキッドオーディオとMP3 の2種類があるが、ここではもちろんMP3 を選ぼう。



ボタンを押すと、自動的にファイルの情報を取得したあと、どこにファイルを置くかを聞いてくるので、場所を指定してOKすればダウンロードが始まる。もしこうならずブラウザの別ウィンドウが立ち上がったときは、そのウィンドウを閉じた後に、ダウンロードボタンを右クリックして「対象をファイルに保存」を選べば、あとは同じように進められるはずだ。

1 曲は平均すると約 3 ~ 4M バイト程度のサイズで、56K モデムでは十数分程度でダウンロードできる(回線の状況によって異なる)。



はじめよう!

# インターネット的 音楽生活

Windows



## Winampで聴く

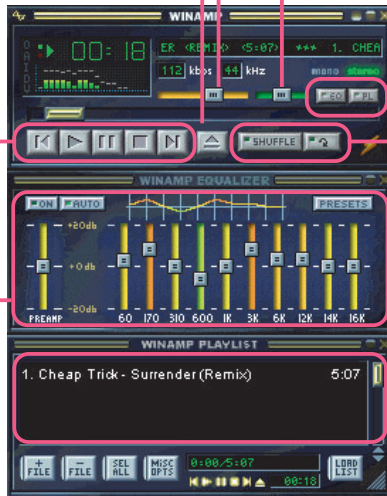
MP3ファイルをダウンロードしたら、次は再生用のソフトをインストールしよう。ここではウィンドウズ用にはWinamp、マッキントッシュ用にはMacampをおすすめしている。

Winampのインストールは、途中で自分のメールアドレス他の入力を要求されるくらいで、インストールは基本的に「Next」を押していけば完了できる。

インストールが完了したらよいよ再生。228ページでダウンロードしたファイルをダブルクリックするか、Winampを起動した画面の上にドラッグアンドドロップすると再生がスタートする。ダブルクリックでほかのプレイヤーが開いてしまうこともあるので、ドラッグアンドドロップで聴くのが確実だ。あとは好きな曲をじっくりと楽しんでほしい。

操作方法は簡単。ラジカセなどと同様に、再生は▶、停止は■を押す。早送りは▶、巻戻しはその反対だ。

Winamp Equalizerでは音調の調節ができる。音楽ジャンル別に最適化された設定(PRESETS)が用意されているので、いろいろ選んで違いを聴き比べてみよう。



上のスライダーの左はボリューム、右はバランス。下のボタンはMP3ファイルのあるフォルダーを開く。

下のイコライザー画面やプレイリスト画面を出したり隠したりできる。

繰り返して再生したいとき(右ボタン)や、ランダムに再生したいとき(左ボタン)はここ。

曲目が表示できるプレイリスト。詳しくは次ページで。

## Winamp

CD-ROM収録先: [A] Win Winamp  
(シェアウェア・個人使用は10ドル)

Macintosh

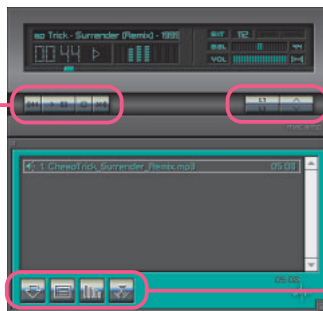


## MacAMPで聴く

マッキントッシュ用のMacAMPをインストール。CD-ROMのファイルをダブルクリックすると自動展開されるので、適当なフォルダーに保存しよう。

完了したら再生へ。メニューバーの「Menu」「Open」が、MP3ファイルのドラッグアンドドロップ、またはダブルクリックで再生できる。

基本操作部分。キーのデザインは違うが、▶が再生など、動作はWinamp同様だ。



左側が各曲を1回ずつ聴くモード(上)とリピート(下)右側がボリュームの上下。

左からファイルを開く、プレイリストを保存する、ソートの順序を変える、ファイルの削除。

## MacAMP

CD-ROM収録先: [A] Mac Macamp  
(版無償配布)

## ここでもダウンロードできる

amazon.com が物足りなくなったら、以下のサイトへ行ってみよう。ここからも公式なMP3ファイルがダウンロードできる。

Rollingstone.com <http://www.rollingstone.com/>

今の音楽シーンに関連する、膨大な数のアーティストの曲をダウンロードできる。

mp3.com <http://mp3.com/>

インディーズ系のアーティストを中心に、世界各国からアップロードされたファイルを提供。

Official Public Enemy <http://www.public-enemy.com/>

ラップグループ「パブリックエナミー」の公式サイト。常にMP3フォーマットの曲がアップロードされている。



## 今月の小冊子はこの 企画のソフトで聴こう

今月号の小冊子「インターネット放送局100」には、この特集内で登場しているソフトで聴ける放送局を集めている。特集を読んでインストールしたあとは、ぜひ小冊子で好きな番組を見つけて楽しんでほしい。必ず好みの番組が見つかるぞ。





# 曲がたまったら 好きな順番で **聴く!**

MP3の扱いに慣れてファイルがたまってくると、毎回クリックやドラッグアンドドロップするのは面倒くさいと感じ始める。このため曲たちを、**自分専用のCD**みたいに順番を決めて鳴らしたら……。心配ご無用、簡単に解決できる。

## たまった曲をうまく聴くために

Winampの扱いにも慣れて、ダウンロードはもうラクラクこなせるようになった。そうすると自然に増えるファイル数。どのファイルがどの曲かわからなくなってウンザリしているのでは？ だが、そんなことに困っているのでは「プレイヤー使いが甘い!」と言おう。Winampにしるリアルジュークボックスにしる、ユ

ーザーが整理に困る状況が起きないように、ファイル管理に役立つ機能をしっかり備えているのだ。

演奏中の曲名、アーティスト名、時間などのデータの表示ができ、曲が複数あるときはそれをリスト状に表示できる。これを通常「プレイリスト」(Play List)と呼んでいて、

このプレイリストを保存したり、読み込んだりすることで、貯まったファイルの情報をデータベース化して整理しながら聴くことが可能になる。操作も難しくないので、二、三度試せば使いこなせるはず。活用できれば、自分のパソコンが自分専用の音楽データベース兼ジュークボックスになるぞ。

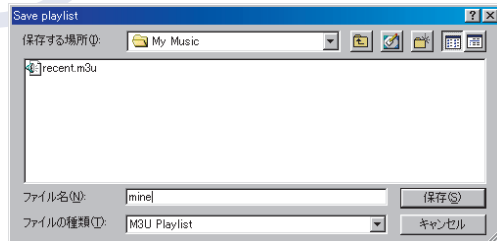
1



## Winampのプレイリストを使いこなす

もっとも簡単な方法は、聴きたい順にMP3ファイルをドラッグアンドドロップしていくことだ。順番を変えたいければ、Playlist(以下プレイリスト)の曲名をドラッグして入れたいところまで持っていけばOKだ。

好みの曲順や組み合わせができたら、保存しておきたいと思うのが人情というもの。それも簡単にできる。プレイリスト右下の「LOAD LIST」ボタンを押すと「SAVE LIST」ボタンが出るので、そこで適当な名前を付けて保存できる。



「-FILE」は曲をリストから削除するときを使う。1回押すと反転させた曲の削除、押し続けて出る「-CROP」で反転させた曲以外の削除、「-ALL」ですべて削除、「-MISC」からは再生できない曲の削除と、曲のファイルをハードディスクから削除することまでできる。



左端の「+FILE」からリストファイルの読み込み、押すと出てくる「+DIR」でMP3タイトルの置いてあるディレクトリそのものの読み込み、「+URL」でMP3ファイルのあるサイトの読み込みができる(これは次ページで説明するストリーミング機能を使う場合に役立つ機能だ)。

「SEL ALL」からは「すべてを選択」と、その解除ができる。

「MISC OPT」からはプレイリストのHTML化(曲数や総時間も出せる)や選択したファイルの情報がわかる。ボタンを押すと出てくる「SORT LIST」からはリストの曲名やファイル名、ランダム選択などによる並べ替えができる。

2



3

読み込みたい場合も「LOAD LIST」から。拡張子に「M3U」と付いたファイルがWinampのリストファイルで、これを読み込める。

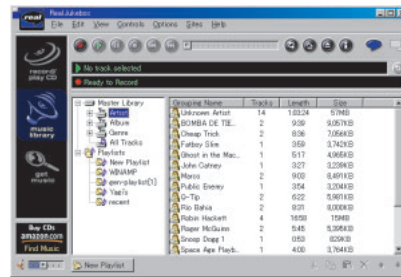
はじめよう!

# インターネット的 音楽生活

## リアルジュークボックスも得意技

リストを使ったMP3ファイルの整理では、リアルジュークボックスも負けてない。もともと自分のCDを再生するハードディスクにMP3ファイルでエンコードMP3ファイルで再生して楽しむという流れを持っているだけに、MP3ファイルの整理やデータベースの構

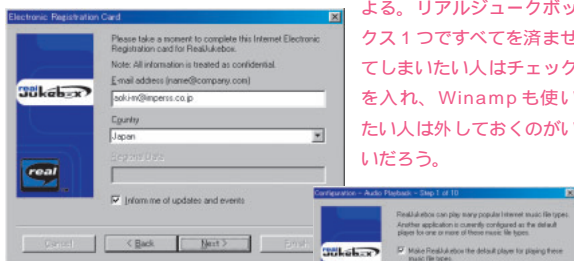
築はお手のもの。Winampでは文字化けする日本語のタイトル曲も、リアルジュークボックスは日本語表示もばっちりOK。Winampで保存したプレイリストの再生もできる。Winampよりもさらに突っ込んで楽しみたい人にぴったりと言える。



### リアルジュークボックス

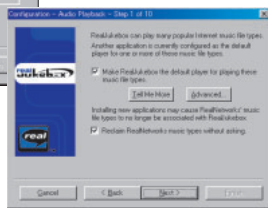
CD-ROM収録先: [A] Win Realj

インストールは基本的に「Next」でボタンを押していけば済むが、メールアドレスと居住国の記入がユーザー登録用に求められ、また「デフォルトの音楽プレーヤーにするか?」というチェックボックスがあるのがキモ。ユーザー登録はここで済ませるほうがいい。デフォルトのプレーヤーにするかは、ほかにWinampなどを使うかどうかによ

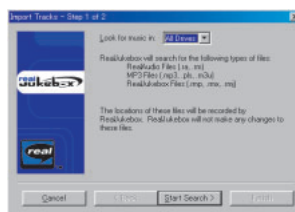


1

リアルジュークボックス1つですべてを済ませてしまいたい人はチェックを入れ、Winampも使いたい人は外しておくのがいいだろう。



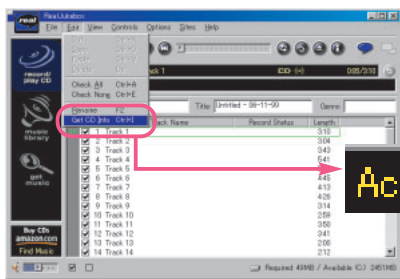
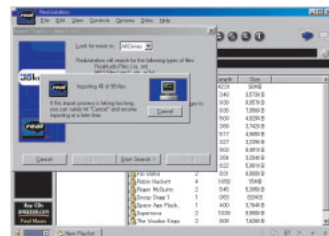
2



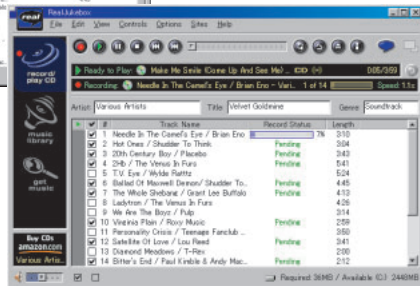
MP3ファイルはドラッグアンドドロップでリストに登録できるが、リアルジュークボックスが自動でMP3ファイルを集めてくる方法にすると、何もしなくてもパソコン内のファイルが登録されるのでおすすめ。メニューバーの「Options」「Search Disk for Music」から検索するDiskを選んで「Start Search」を押せば、自動的にハードディスク上のMP3ファイルを持ってきてくれる。ファイルの量によって若干時間がかかる。

3

読み込み中。後ろではリストが追加されている。終わったらそのまま再生してもいいし、アーティスト名、アルバム名や、ジャンルなどでソートして再生させる方法も。また検索してくる際に自動でWinampのプレイリストも検索、登録するので、Winampで作った選曲でも聴くことができる。



Accessing CDDb



## CD MP3エンコードも可能

CDを再生しながらのMP3エンコードも簡単にできる。まずCDをセットし、メニューバーの「Edit」「Get CD Info」で、CDのデータを世界のユーザーがボランティア的に登録しているデータベースサイト「CDDb」に

つながり、そこから自動的にCDの曲名などをダウンロードしてくれる。ウィンドウ内に表示される「Accessing ~」はデータベースにアクセスしている状態。国内のCDは登録されていないことも多い。

データが取得できたら、操作ボタンの左端の赤丸ボタン(Recordボタン)を押すと、CDの再生と同時にMP3にエンコードされていく。



# ニュースもライブ番組も ストリーミングで



MP3でダウンロード再生が普及したとはいえ、リアルタイムのストリーミング番組のニーズもまだまだある。この分野ではリアルプレイヤーの強さは健在だが、IE 5でラジオバーの登場以来、ウィンドウズメディアプレイヤーの動きも活発だ。さらにMP3でも独特のストリーミング番組がある。

## リアルプレイヤーはやっぱり強い

ライブ(日時を決めてその時間だけ送信する)、オンデマンド(ユーザーの希望に合わせて送信する)を問わず、音声を自分のPCに保存しないストリーミングでは、まだまだリアルプレイヤーを利用しているところが多い。国内外を問わず、大規模なライブ中継やネット

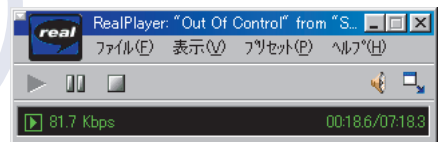
ワークイベントのウェブサイトで、そのアイコンを見ないことはないと言ってもいいほど。すっかりおなじみの人も多いと思うが、念のためにここでおさらいしておこう。

### リアルプレイヤー G2

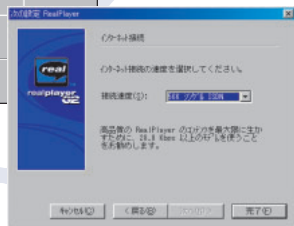
CD-ROM 収録先: [A] Win Rpg2



このボタンでコンパクトに表示できる。



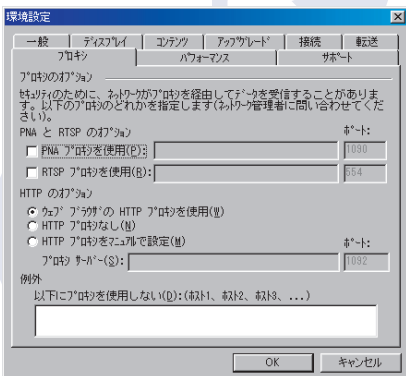
まずはリアルプレイヤーG2をインストールしよう。途中の設定はメールアドレスを記入する以外は「次へ」を押していくと完了する。最後にユーザー登録を済ませ、使用している回線の種類を選ぶ。



あとは世界中にあるリアルプレイヤー用のストリーミング放送を楽しむ。「どこ

に行ったらいいのかわからない」という人は、メニューバーの「プリセット」からリンクしている、さまざまなジャンルの放送局サイトを訪ねてみよう。また「リアルガイド」の日本語ページでは、ソフトとコンテンツの双方を含めた、最新のリアルプレイヤー情報を知ることができる。

リアルガイド  
<http://realguide.jp.real.com/>



起動後、インターネットに接続してから、左側のチャンネルを適当に選んでクリックしてみよう。無事に音や映像が流れだしたら設定の問題はない。どのチャンネルを試しても流れない場合は、普段使っているWWWブラウザのプロキシの設定を確認しよう。プロキシの設定なしでウェブが表示できない環境では、リアルプレイヤーのメニューバーの「オプション」「環境設定」「プロキシ」で設定を変更しよう。「HTTPのオプション」で「ウェブブラウザのHTTPプロキシを使用」にチェックを付けたい。

## ダウンロードだけじゃないWinamp

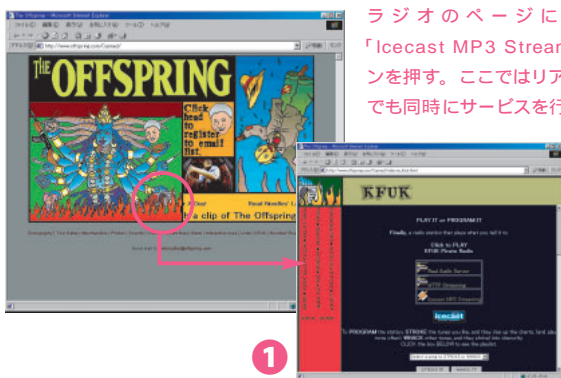
ダウンロード再生だけだと思われがちだが、そんなことはない。SHOUTcast という形式を用いて、ストリーミングも可能なのだ。Winamp でストリーミングもばっちり聴けてしまうのだ。

Winamp を初めて起動したとき、右側にあったウィンドウの役割がわからず、邪魔だからとずっと閉じたままになっている人は多いので

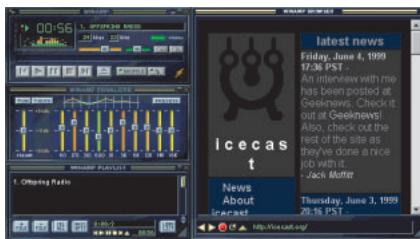
はないかと思う。Winamp ではストリーミング時はそのウィンドウ(「minibrowser」という名前)も利用し、ストリーミング再生とともに特製ブラウザとして発信元サイトからの情報を表示している。表示も工夫が凝らしてあるところが多いので、聴きながら見て回ると楽しい。



ここではアメリカの人気バンド、オフスプリングの公式サイトで提供しているMP3ラジオを聴いてみよう。アドレスは下記のとおり。



ラジオのページに着いたら、「Icecast MP3 Streaming」のボタンを押す。ここではリアルプレイヤーでも同時にサービスを行っている。



2

ダウンロードを尋ねるアラートが出るので、ファイルを開くほうにチェックを付けてOKすると、Winampの右側のウィンドウが

開き、ストリーミング受信が始まる。右ウィンドウ内はHTMLで表示されており、ほかのラジオ局や番組とリンクしていることが多い。

**The Offspring**  
[http://www.offspring.com/Canned/indexno\\_kfuk.html](http://www.offspring.com/Canned/indexno_kfuk.html)

## ウィンドウズメディアプレイヤーは万能選手

このところ話題になることが多いウィンドウズメディアテクノロジー(以下WMT)もストリーミングに対応している。再生するウィンドウズメディアプレイヤーはウィンドウズ98に標準で付属、さらにIE5にも付属しているが、最近新しい圧縮技術に対応して注目されているのは単体でダウンロード及びインストールする

ベータ版だ。つまりこちらをインストールしないとその万能振りはわからないので、インストールする際、バージョンが6.2以降であるかどうかには気をつけよう。IEのラジオバーでもこのプレイヤーが使われている。WMT、MP3ともにストリーミングとダウンロードの双方に対応しており、汎用性は高い。

まずはインストール。プレイヤーのバージョン確認を忘れずに。下は「Search」ボタンを押すとリンクする検索ページ。

1

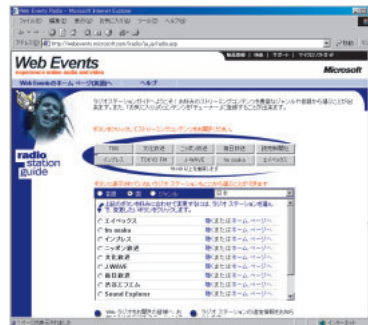
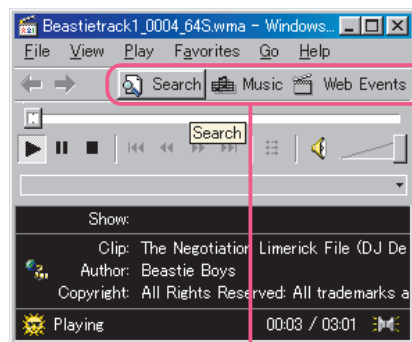


ここでは「Music」ボタンをクリックして、音楽ページに飛び、そこでフィーチャーされていたビースティボーイズのファイルを再生してみた。

2



ウィンドウズメディアプレイヤー  
<http://www.microsoft.com/japan/windows/mediaplayer/>



3

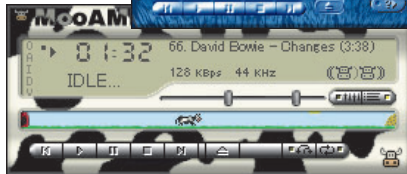
おなじみインターネットラジオのページは、「Web Events」ボタンとリンクしている。





# MP3 プレイヤーを チューンナップして遊ぶ!

人気のMP3プレイヤー「Winamp」と「MacAMP」には、曲を聴くための機能のほかに、ちょっとした遊びの機能も入っている。ここで紹介する機能を使って自分だけのオリジナルMP3プレイヤーを作れば、ますますMP3の世界がおもしろくなる!



## 「Skin」でクールなデザインにしてみよう

Winamp やMacAMPの人気の理由の1つが、デザインを自由に変えられる「Skin」(スキン)という機能だ。Skinはだれでも自由に作ることができ、現在、Winamp.com (<http://www.winamp.com/>) や1001 Winamp Skins (<http://www.1001winampskins.com/>)、MacAMP.com (<http://www.macamp.com/>) から3000以上のSkinをダウンロードできる。

**Winamp の場合**  
Skin データをWinamp フォルダの中にある「Skins」フォルダ (C:\Program Files

¥Winamp¥Skins) にコピーする。Winamp を起動し、Winamp の上で右クリックして、開いたメニューの「Options」 「Skin Browser」をクリックする。ここで、先ほどフォルダに入れたSkinの名前をダブルクリックする。これでWinampのデザインが変わる。

**MacAMP の場合**  
Skin データをMacAMP フォルダの中にある「Skins」フォルダにコピーする。MacAMPを起動して、「Skins」メニューから先ほどフォルダに入れたSkinの名前を選択する。これでMacAMPのデザインが変わる。

## Winampの表示を日本語にするには

人気のMP3プレイヤー「Winamp」は非常に使いやすいが、メニューなどが英語で表示されるのが唯一の問題だ。日本語の歌などもすべて文字化けしてしまう。

そこで、Winampを日本語化するツールを開発したユーザーが出てきた。「日本語 Language Pack」をダウンロードして設定すれば、Winampに表示される曲名やプレイリスト、メニュー、設定ダイアログを日本語にできる。ウィンドウズ95、98、NTによって登録するファイル名が違うので、よくマニュアルを読んでから試そう。

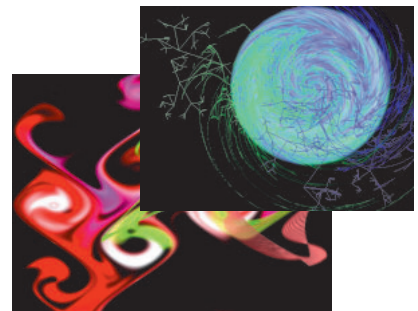
Win32 工作小屋  
<http://www.ra.sakura.ne.jp/~tms/>



## 音に反応して動くCGを堪能しよう

Winampには「plug-in」という機能がある。こちらはSkinのようにデザインを変えるものではなく、機能を追加するものだ。ポカルの音だけを消してカラオケを楽しめるようにしたり、Winampをタスクバーで操作できるようにしたりするものなど、さまざまなplug-inがある。気軽に楽しめるものとしては、画面のような音に合わせてきれいなCGが動く「3D Only」がおすすめだ。こちらもWinamp.comからダウンロードできる。

**Winamp の場合**  
plug-in データをWinamp フォルダの中にある「Plugins」フォルダ (C:\Program Files¥Winamp¥Plugins) にコピーする。Winampを起動し、Winampの上で右クリックして、開いたメニューの「Visualization」 「Select plug-in」をクリックする。こ



で、先ほどフォルダに入れたPlug-inの名前をダブルクリックする。これでOKだ。

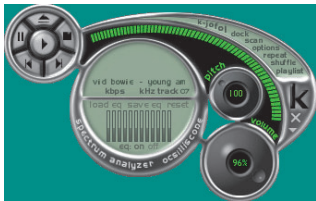
**MacAMP の場合**  
plug-in データをMacAMP フォルダの中にある「Plugins」フォルダにコピーする。MacAMPを起動して、「Plugins」メニューから先ほどフォルダに入れたplug-inの名前を選択する。これでOKだ。

はじめよう!

# インターネット的 音楽生活

## 個性豊かなMP3プレイヤーを使ってみよう

インターネットにはWinampの他にも個性豊かなMP3プレイヤーがたくさんある。どれもデザイン、機能、使いやすさに特徴があっておもしろい。ぜひ一度インストールしてみて、自分の好みにピッタリくるプレイヤーを選んでほしい。なお、ここで紹介しているMP3プレイヤーはすべてフリーソフトウェアだ。



**K-Jofol** <http://www.kjofol.org/>  
独特のデザインと起動時と終了時の動きがおもしろいフランス生まれのプレイヤー。



**SCMPX** <http://70.nu/ch3/>  
プレイヤーの機能と、WAVファイルからMP3ファイルを作成する機能を持つ。日本語版。



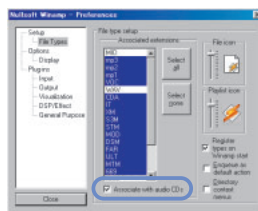
**Sonique** <http://www.sonique.com/>  
好き嫌いははっきりしそうなデザインが特徴。1つ1つの動作が凝っている。

## ファイル形式ごとに最適なプレイヤーで聴くには

### ダブルクリックで起動するプレイヤーを変える

ウィンドウズでは、ちょっと試してみるつもりで新しいプレイヤーをインストールすると、ファイルのダブルクリックで愛用のプレイヤーが起動しなくなってしまうことがある。各ファイル形式に最適なプレイヤーが起動するように設定を変えよう。

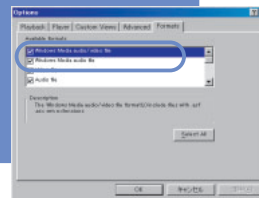
**リアルプレイヤー G2 の場合**  
「オプション」メニュー「環境設定」で「アップグレード」タブを選び、「RealNetworksのメディアタイプを通常使用するタイプに設定する」をチェックする。



**Winampの場合**  
Winampのウィンドウを右クリックして表示されるメニューから「Options」「Preferences」を選び、リストから「MP3」「M3U」「PLS」を選択する。デフォルトのCDプレイヤーにしたいときは「Associate with Audio CD's」をチェックする。

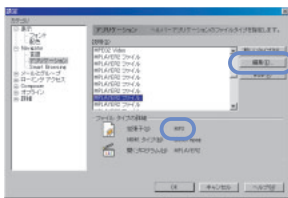
### ウィンドウズメディアプレイヤー（バージョン6.1以降）の場合

「View」メニュー「Options」で「Formats」タブ（日本語版では「表示」メニュー「オプション」で「形式」タブ）を選び、「Windows Media audio/video file」と「Windows Media audio file」にチェックを付ける



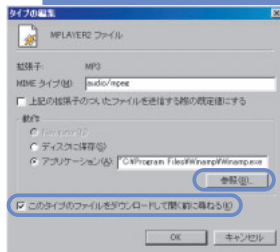
### ナビゲーターから Winamp を起動させる

ウィンドウズでは、フォルダー上でMP3ファイルを開いたときにはWinampが起動するのに、ネットスケープナビゲーターではメディアプレイヤーが起動してしまうことがある。そんなときは、「編集」メニュー「設定」から「Navigator」「アプリケーション」を選び、「MP3」および「M3U」が拡張子のファイルの設定を変える。



リストの「MPLAYER2ファイル」から「拡張子」欄に「MP3」と表示されるものを選び、「編集」ボタンを押す。「M3U」と表示されるものも同様に設定する。

「参照」ボタンを押して好きなプレイヤーの実行ファイルを選択し、「OK」ボタンを押す。「このタイプのファイルをダウンロードして開く前に尋ねる」は、「MP3」ではチェックし、「M3U」ではチェックをはずすとよい。



### ナビゲーターから MacAMP を起動させる

マッキントッシュ版のネットスケープナビゲーターでMP3ファイルを開くと、MacAMPではなくクイックタイムのプラグインが起動してしまうときは、「編集」メニュー「設定」から「Navigator」「アプリケーション」を選ぶ。



「アプリケーション」をチェックして「選択」ボタンを押し、MacAMPを選ぶ。「拡張子」に「mp3」と入力し、「OK」ボタンを押す。



リストから「QuickTime Audio MPEG」を選び、「編集」ボタンを押す。

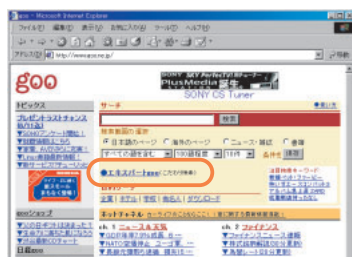


# オーディオ専用の 検索でファイルを**探**す!

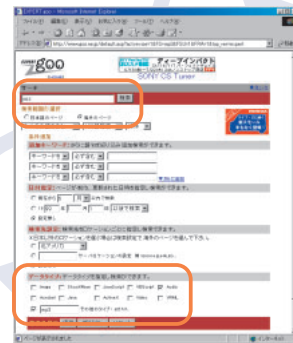
テキスト情報だけを検索する時代は終わり、検索サービスはオーディオやビデオといったマルチメディア検索に特化したサービスを提供し始めた。ここで紹介する検索サービスを利用すれば、目指すオーディオファイルは簡単に見つかる。

## エキスパートgooで一発アクセス!

リアルオーディオのファイルやMP3のファイルを見つける一番簡単な方法は、検索サービスを使うことだ。しかし、ただ単に通常のウェブページを探すとときと同じような検索をしたのでは、関係のないページばかりが表示されてしまう。では、どうしたら効率よくオーディオファイルを探せるのか? 一番確実なのは、いくつかの大手検索サービスが開始したマルチメディアファイル検索を利用することだ。国内ではgooが提供している「エキスパートgoo」(こだわり検索)がおすすめ。ここでは、「Audio」や「Video」といったファイルのデータタイプを指定して検索ができるほか、日本語のページから探すか、海外のページから探すかも選択できる。この2つの項目とキーワードを組み合わせて検索するだけで、目指すオーディオファイルが見つかる可能性は格段にアップする。



まず、トップページの検索フィールドの下にある「エキスパートgoo」をクリックする。



最後に、データタイプの項目の「Audio」にチェックし、その他のタイプのフィールドに「mp3」と入力する。これで準備はOK。「検索」ボタンを押してみよう。

今回はJazzに関連するオーディオファイルを探してみた。検索結果のトップに表示されたのは、なんと、アメリカのジャズ専門ラジオ番組のウェブサイト。番組の内容をそのままMP3とリアルオーディオでアップしていた!

**goo**  
<http://www.goo.ne.jp/>

## LycosとMP3.comも充実

アメリカではLycosのMP3検索サービス「MP3 SEARCH」が充実している。エキスパートgooとの大きな違いは、MP3という文字を含んだHTMLファイルを探すのではなく、直接MP3ファイルを探すということだ。検索結果に表示されたリンクはすべてMP3ファイルで、クリックするだけですぐにファイルを手に入る。

数千人のアーティストを抱えるMP3.comのMP3検索サービスでは、MP3.comに登録されているアーティストや曲の検索ができるのももちろん、ほかの有名なMP3検索サービスも利用できる。登録されているMP3検索サ

ービスはMP3.comも含めて11サイトで、すべてのサービスの検索フィールドが用意されている。



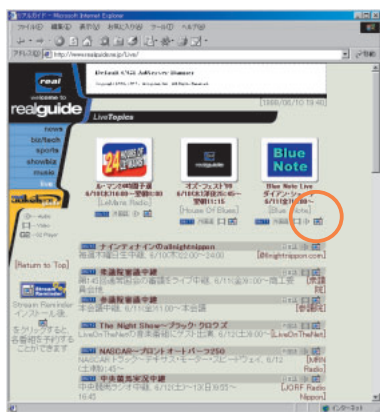
**MP3.com**  
<http://www.mp3.com/search.html>

**Lycos MP3 Search**  
<http://mp3.lycos.com/>

## チェックした番組はもう逃さない! Streaming Reminder

インターネットラジオやコンサート中継など、数多くのストリーミング番組が放送されている。しかし、仕事に集中していたり、チャットに熱中していたりすると、見たい番組をうっかり見逃してしまうことがある。こんなとき、このStream Reminderを使えば、見たい番組の放送時間になるとパネルで知らせてくれるので、見逃すことがなくなるのだ。現在、Stream Reminderに対応しているのは、impress Watch Stream (<http://www.watch.impress.co.jp/headline/radio/>) とリアルガイド LiveTopics (<http://www.realguide.ne.jp/Live/>) だ。ここではリアルガイドを例にしてStream Reminderの使い方を紹介しよう。

CD-ROM収録先:  Win Streamr  
<http://www.watch.impress.co.jp/StermR/>

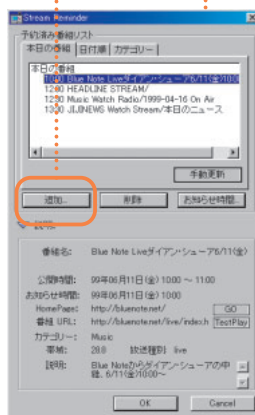
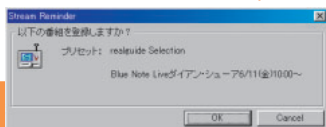


1

各番組にStream Reminderのアイコンが貼られているので、見たい番組のアイコンをクリックする。

2

Stream Reminderが起動して、登録の確認のメッセージが表示される。よければ「OK」ボタンをクリックする。

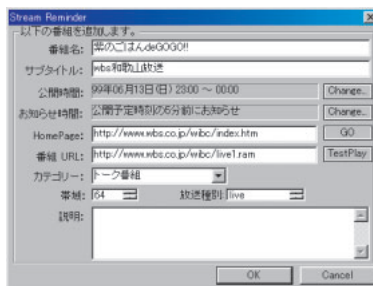
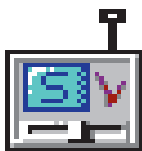


3

ウィンドウズのタスクトレイに表示されているStream Reminderのアイコンをダブルクリックすると、コントロールパネルが表示される。ここで登録した番組を「本日の番組」、「カテゴリ順」、「日付順」で確認できる。「削除」ボタンをクリックすると番組の予約が解除される。

### 使用環境

OS: ウィンドウズ 95/98  
WWW ブラウザー: ネットスケープナビゲーター 3.0以上、インターネットエクスプローラ 4.0以上  
ストリーミング再生ソフト: リアルプレイヤー、ウィンドウズメディアプレイヤーなど



Stream Reminderに対応していない番組を登録する場合は、タスクトレイに登録されているStream Reminderのアイコンをダブルクリックしてコントロールパネルを開き、「追加」ボタンをクリックする。開いたウィンドウに番組名や放送が開始される日時を入力すればOKだ。

4



予約した番組の放送時間になると、「お知らせパネル」が表示され、同時にウェブサイトへアクセスする。

### 実はあるプロジェクトの落し子的存在なんです

#### 「ストリーミングリマインダー」作者の有田さんに聞く

このソフトの作者の有田さんは、実はインプレスのインターネット事業部に勤務している。さっそくストリーミングリマインダーについての裏話をいろいろがってみた。

■どういった経緯で考えられたソフトなんですか？

**有田**「実はもともと進行していたストリーミング関係のプロジェクトがあって、これはその機能の1つとして入る予定だったんですよ。番組を作ってアップロードして、それをユーザーの方にお知らせするまで完全自動化するものを考えていたんですが、いろいろあって形が変わり、最終的に手元にはこれができあがった……という感じです」

期間はどれくらいかかっていますか？

**有田**「これだけをやっていたわけではないので、ほかの仕事もいろいろやりながら、だいたい1年くらいです」  
特に気をつけたのはどこでしょう？

**有田**「ストリーミングの公開当日にお知らせするのはもちろんですが、デスクトップにあっていやな感じにならないように心がけました。人によって常駐もいやとか、タスクバーにある状態が気になるとか、いろいろ好みがあって大変なんですよ」

これからさらに手が加わることはありますか？

**有田**「海外のコンテンツにも対応ボタンを付けられるように、ローカライズを行っているところです」





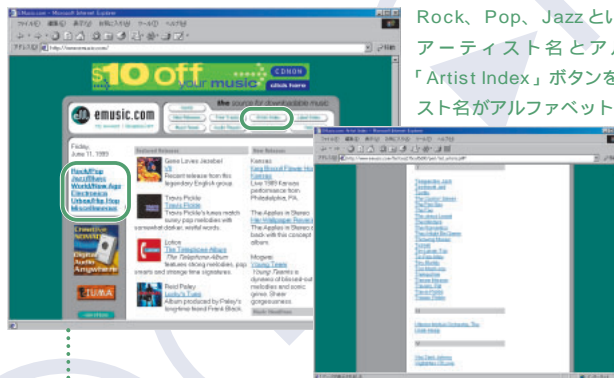
# 聴いた曲をその場でダウンロードして**買う**う!

「MP3 = 違法」は大きな間違い。すでにインターネットには、合法的にMP3データをダウンロード販売している音楽配信サイトがたくさんある。ここでは、中でもメジャーなアーティストやタイトルを豊富に扱っているサイトをいくつか紹介しよう。

## 好きな曲だけピックアップして購入できる

MP3ファイルの販売の先駆けとなった「GoodNoise」が社名を「EMusic.com」に変更し、ウェブページのデザインも一新した。EMusic.comの最大の特徴は、アルバム内の曲を1曲ずつ購入できることだ。しかも、1曲1ドル程度。これまでは、気に入った曲が2曲しかなくても12曲収録されたアルバムを買う必要があった。しかし、インターネットとMP3が「1曲だけでも買える」という新しいビジネスを生み出した。さらに、このEMusic.comには、イギー・ポップやゼイ・マイト・ビー・ジャイアンツ、フランク・ザッパなど、メジャーなアーティストの曲も多く登録されている。

**EMusic.com**  
<http://www.emusic.com/>



Rock、Pop、Jazzといったジャンルを選ぶと、アーティスト名とアルバム名が表示され、「Artist Index」ボタンをクリックするとアーティスト名がアルファベット順で表示される。このい

づれかをクリックしていき、ジャケットと曲名が表示されるまで進む。

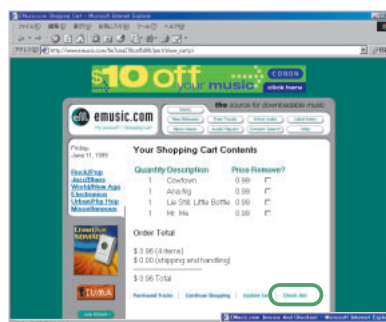
1



2

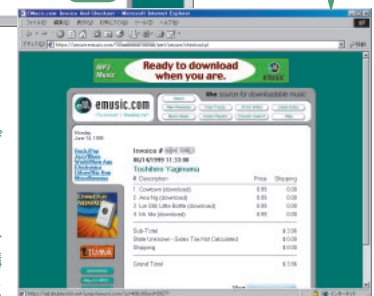
チェックを付けた購入する予定の曲が表示される。もし、買うのをやめたい曲があれば、チェックを付けて「Update Cart」をクリックする。よければ「Check Out」をクリックする。

曲名の右にあるスピーカーのアイコンをクリックすると30秒程度のサンプルMP3ファイルがダウンロードできる。ファイルサイズは500Kバイトほどだ。買いたい曲があったら、チェックを付ける。アルバムごと買うなら、「Download whole album」をクリックする。買うものにチェックを付け終わったら右下の「ADD TO CART」をクリックする。



3

初めてEMusic.comを利用するユーザーは「Create New Account」をクリックする。ここで名前やパスワード、住所、クレジットカード番号などを入力する。ユーザー登録が終わると、購入した曲をダウンロードできるようになる。今後は、「Create New Account」をクリックしたページで電子メールアドレスとパスワードを入力するだけで購入できるようになる。



4

はじめよう!

# インターネット的 音楽生活

## 気に入った曲のCDをワンクリックでショッピング

Spinner.com は、曲そのものを買うのではなく、ストリーミングを試し聴きに利用しているサイトだ。専用プレイヤーを使って、ラジオのようにさまざまなジャンルの曲を24時間、無料でかけ続けている。しかも、そのジャンルは100以上にも上る。気に入った曲があったら「BUY THIS CD AT amazon.com」ボタンをクリックするだけで、amazon.comにあるそのアーティストのショッピングページにアクセスするのだ。



**Spinner.com**  
<http://www.emusic.com/>



## メジャーアーティストの曲を専用プレイヤーで聴く

独自の音楽システムながら、エアロスミスやメドレーやR.E.M.のライブなど、メジャーなアーティストの曲をダウンロード販売しているのが「a2b music」と「Liquid Audio」だ。どちらも専用のプレイヤーが用意されているほか、ダウンロードした音楽データは本人しか再生できないといった、著作権を守る機能も持つ。また、Liquid Audioはオンラインで購入した音楽データをCD-Rに記録して、CDプレイヤーで聴けるようにできるユニークな機能を持っている。



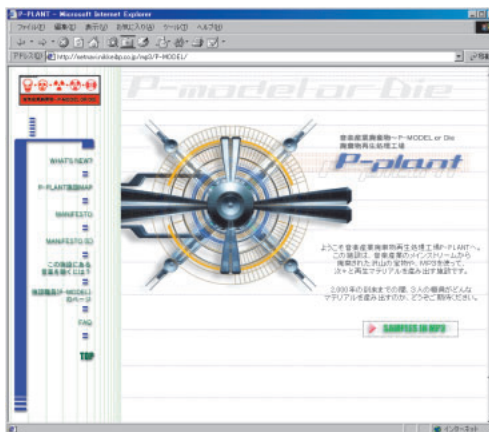
**a2b music**  
<http://www.a2bmusic.com/>



**Liquid Audio**  
<http://www.liquidaudio.com/>

## プロとして日本初 P-MODELが新曲をMP3で販売!

海外では、ラップグループのパブリック・エネミーが新曲を自分のウェブページで公開して話題になったが、ついに日本でも、MP3による曲を販売するプロのミュージシャンが現れた。日本のテクノポップの草分けとして知られるバンド「P-MODEL」だ。なんと、P-MODELは今回のプロジェクトの開始にあたり、メジャーレコード会社との専属契約を打ち切ったという。この事実からも、今回のプロジェクトが、これまでいやになるほど聞かされた「実験」ではないことがわかる。今後は「音楽産業廃棄物～P-MODEL OR DIE」のプロジェクト名で、インターネットでの音楽配信を展開するという。現在は、このプロジェクト専用のウェブサイト「P-PLANT」でMP3によるサンプル曲を公開しており、2000年までに、アルバム4枚分に相当する曲をMP3で発表する予定だ。



**P-PLANT**  
<http://netnavi.nikkeibp.co.jp/mp3/P-MODEL/>



# MP3を専用プレイヤーで持ち歩く!

PCで思う存分MP3の世界を満喫したら、今度はPCを離れて外へ飛び出そう。音飛びすることのない高音質なデジタルサウンドは、持ち歩いてこそその真価を發揮するのだ。ここではポータブルMP3プレイヤー「Rio」を使ったMP3の最大の楽しみ方を紹介しよう。

## RioはこんなMP3プレイヤーだ

ダイヤモンド・マルチメディア・システムズの「Rio PMP300」は、手のひらサイズのポータブルMP3プレイヤーだ。重さも70グラムと非常に軽い。最大の特徴は、MDプレイヤーのようなディスクを回転させるための機械的な駆動部がないため、音飛びの心配がないというところ。まさに、持ち歩くのに最適なプレイヤーなのだ。

付属のソフトウェアを使って音楽CDをパソコンでMP3フォーマットにエンコードすれば、いつでもどこでもお気に入りの曲を高音質のデジタルサウンドで聴ける。Rio PMP300の内蔵メモリーは32Mバイトで、CDクオリ

ティーの128KbpsのMP3ファイルなら約30分。追加メモリーとして、最大32Mバイトの3.3Vスマートメディア（別売）を利用できるので、合計で約60分の記録が可能だ。電源も、単3形アルカリ乾電池1本で約12時間もの長時間再生ができる。

Rio PMP300は実売で約21,800円。オプションの専用ベッドフォンリモコン（約2,800円）を使うと格段に操作性がアップするので併せて購入しておこう。

ダイヤモンド・マルチメディア・システム  
<http://www.diamondmm.co.jp/products/current/rio.html>



音楽はデジタルで持ち歩く。このスタイルを世界的に広めたRio PMP300。

## Rioの基本的な使い方



- A LEDディスプレイ**：曲番号や電池の残量、モードなどが表示される
- B HOLDスイッチ**：誤ってボタンに触れたときの誤作動を防ぐ
- C データケーブルコネクタ**：PCと接続するためのケーブルをつなぐ
- D スマートメディアスロット**
- E ボリュームボタン**
- F ランダムプレイボタン**
- G リピートボタン**：1回押すと1曲だけ繰り返し返し、2回押すとメモリー内の全曲を繰り返し返す
- H A-B機能ボタン**：ボタンを1回押したところから2回目を押したところまでを繰り返し再生する
- I 再生/一時停止ボタン**：1回押すとRioの電源が入り、曲の再生を始める。再度押すと曲を一時停止する
- J 早送りボタン**：押してすぐ指をはなすと次の曲にスキップし、押したままにすると、曲を早送りする
- K 停止ボタン**：1回押すと再生を停止し、再度押すとRioの電源が切れる
- L 巻き戻しボタン**：押してすぐ指をはなすと前の曲にスキップし、押したままにすると、曲を巻き戻す



Rio PMP300の必要システム構成  
OS：Windows 95/98  
CPU：ペンティアム90MHz以上  
メモリー：16Mバイト以上  
ポート：パラレルポート

- M MENUボタン**：全メモリーの容量や空き容量をチェックできる
- N EQボタン**：イコライジングの設定をNormal、Classic、Jazz、Rockの4種類から選べる
- O INTROボタン**：各曲の最初の部分だけを約10秒間再生する

## 最大96Mバイト搭載できるRioの特別モデルが登場

米国のダイヤモンド・マルチメディア・システムズのウェブページ（<http://www.diamondmm.com/>）には、Rio PMP300の特別モデル「Rio PMP300 SE 64MB」が登場した。64Mバイトのメモリーを内蔵し、32Mバイトのスマートメディアと合わせて96Mバイト搭載できるという優れたもの。日本からでもウェブで購入できる。

Rio PMP300 SE 64MB  
249.95ドル



はじめよう!

# インターネット的 音楽生活

## MP3ファイルをRioに転送する

Rioの使い方をマスターしたら、さっそくPCからRioにMP3ファイルを転送してみよう。転送には「Rio マネージャー」というソフトを使うのだが、Rioのパッケージに付属しているのは英語版で、日本語の曲名などが文字化けしてしまう。日本のダイヤモンド・マルチメディア・システムズのウェブサイトに

は、Rio マネージャーの日本語版がアップロードされているので、こちらをダウンロードして使おう。

Rio マネージャーをインストールしたら、PCとRioを付属のケーブルで接続して電源を入れる。これで転送の準備はOKだ。



4

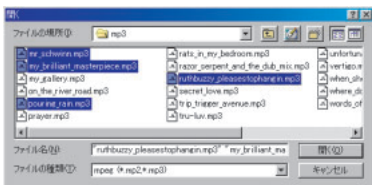
ファイルの転送は32Mバイトで4分～6分程度かかる。ファイルの転送が終わると曲名の左にあったフォルダのアイコンがCDのアイコンに変わる。これで転送は完了だ。さっそく再生ボタンを押して、曲を再生してみよう。

1

Rio マネージャーを起動したら「MEM」ボタンをクリックし、「Internal Memory」というウィンドウを開く。このウィンドウの「open」ボタンをクリックする。



2



Rioに転送したいMP3ファイルを選択する。「Ctrl」キーを押しながらファイルをクリックすると、複数のファイルを選択できる。選んだら「開く」ボタンをクリックする。

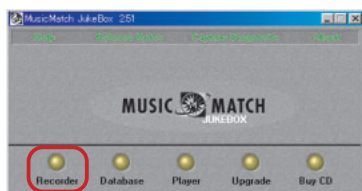
3



「Internal Memory」ウィンドウに選んだMP3ファイルが登録される。このとき「空きメモリー容量」をチェックしておこう。登録したファイルの総サイズ量がRioの総メモリー容量を超えると、ファイルの転送ができない。スマートメディアを利用する場合は、「External」ボタンをクリックして、こちらにも同様の操作でファイルを登録する。ファイルの登録が終了したら「download」ボタンをクリックし、ファイルの転送を開始する。

## 音楽CDからMP3ファイルを作成するには

MP3ファイルの配布や販売をしているサイトには、メジャーアーティストの曲はまだまだ少ない。Rio PMP300にば MusicMatch JukeBox SE版(ダイヤモンド特別版)というソフトが付属している。このソフトを利用すれば、簡単にお気に入りの音楽CDを直接MP3フォーマットに変換できる(ただし、変換できるのは50曲まで)。



MusicMatch JukeBoxを起動したら、「Recorder」ボタンをクリックする。



MusicMatch JukeBoxがCDのシリアル番号を読み取り、インターネット上のデータベースからアルバム名、アーティスト名、曲名などを探し出して表示する。データベースにCDのデータがない場合は「TRACK1」のように表示される。

次に、右上の「OPT」ボタンを押す。ここで音質を決める。初期設定では128KbpsのCDクオリティになっている。設定したら、MP3フォーマットに変換したい曲にチェックを付ける。最後に「START」ボタンをクリックすれば、自動的に変換が始まる。

## 新型MP3プレイヤー が続々登場!

まず、クリエイティブメディアが「Creative NOMAD デジタルオーディオプレーヤー 64 MB」(http://www.creaif.co.jp/ 写真右)を34,800円で発売。Rioよりひとまわり程度小型で、FMラジオ機能を搭載している。D.N.A.はジッポーライターサイズの「ポケットデジタルオーディオ」(http://www.dynamicnakedaudio.com/ 写真左)を発売。本体のみの価格ながら6,800円という驚きの価格を実現している。







# 自作の曲を公開するために 音楽ファイルを

# 作る!

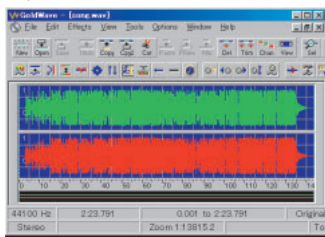
これまで紹介してきた形式のオーディオファイルは、録音した曲さえあればだれでも作ることができる。最後に自分の作品をホームページで公開する方法を紹介しよう。個人のホームページから世界的なヒット曲が生まれるかもしれない。

## 音声データファイルを作成するには

MP3などの圧縮ファイルを作るには、まず音楽をカセットデッキなどのオーディオ機器からパソコンに取り込み、圧縮されていないデジタル音声データを作成しよう。音声データのファイル形式は、ウィンドウズではWAV、マッキントッシュではAIFFになる。

オーディオ機器からパソコンに音を取り込むには、オーディオ機器のライン出力とパソコンのサウンドボードのライン入力をケーブルでつなく。マイク入力につなぐと品質が悪くなるので注意。マッキントッシュでは、RCA入力があればそこにつなげられる。パソコンやサウンドカードの説明書を読めば、どこにつなげられるかが載っているはずだ。

データの取り込みや編集には、高機能なシェアウェアを使うといい。ここではウィンドウズ用のソフトとしてGoldWaveを、マッキントッシュ用のソフトとしてD-SoundPROを使ってみた。



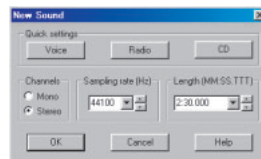
## GoldWaveで WAVファイルを作成する



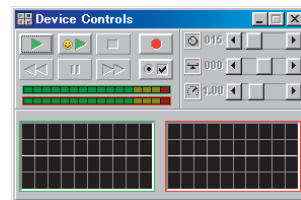
1 ウィンドウズのタスクバーのトレイから「Volume Control」を開き、「オプション」メニュー「プロパティ」で「録音」をチェックして「OK」を押す。録音用のボリュームが表示されるので、「Line」の下にある「選択」をチェックする。

4 録音が完了したら、オーディオ機器を停止させ、GoldWaveの停止ボタンを押す。データに余計な部分が含まれていたら、編集機能を使って削除する。「File」メニュー「Save As」でWAVファイルに保存する。

GoldWaveの「File」メニューから「New」を選び、「New Sound」画面で「CD」ボタンを押す。取り込む曲の長さより少し余裕を持たせた時間を「Length」に入力して「OK」を押す。



2 オーディオ機器で再生を始め、Ctrlキーを押しながら「Device Controls」ウィンドウの録音ボタンをクリックする。



**GoldWave Ver.4.02**  
シェアウェア、55カナダドル  
<http://www.goldwave.com/>

## D-SoundPROで AIFFファイルを作成する

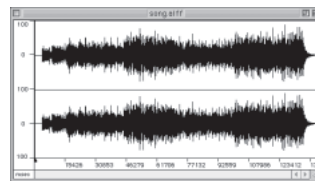
マッキントッシュの「コントロールパネル」

1 「モニタ&サウンド」で「システムサウンド」を押し、「サウンド入力」を「RCA入力」にする。



2 D-SoundPROを起動する前に、ファイルの情報を表示させて「メモリ必要条件」の「使用サイズ」を大きくしておく。

3 オーディオ機器で再生を始めてからD-SoundPROの「コマンド」メニューから「新規録音」を選び、録音ボタンを押す。



4 停止ボタンを押す。データに余計な部分が含まれていたら、編集機能を使って削除する。「ファイルメニュー」 「別名で保存」でAIFFファイルに保存する。

**D-SoundPRO**  
シェアウェア、4000円  
<http://www.bridge1.com/>

## 目的に合わせてエンコード方式を選ぼう

WAVファイルやAIFFファイルができたなら、インターネット上で配布できるようにファイルを圧縮しよう。エンコード形式(ファイルの圧縮形式)は、自分の目的に合うように適切に選ぶ必要がある

### MP3

高音質の作品をできるだけ多くの人に聴いてもらいたいなら、インターネット上での標準的なオーディオファイル形式となったMP3を選ぶといい。MP3のプレイヤーソフトにはWindowsやマッキントッシュだけでなく、

UNIXなどあらゆるプラットフォーム用のものがある。

### リアルオーディオ

作品をダウンロードして聴いてもらうのではなく、本格的にストリーミング再生させたいならリアルオーディオだ。最新のリアルシステムG2では、ユーザーの通信速度に合わせたファイルを複数用意しなくても、1つのファイルで通信速度に合わせた配信が自動的にできる。リアルオーディオのストリーミングができるホームページを提供しているプロバイダーもある。

### ウィンドウズメディアテクノロジー(WMT)

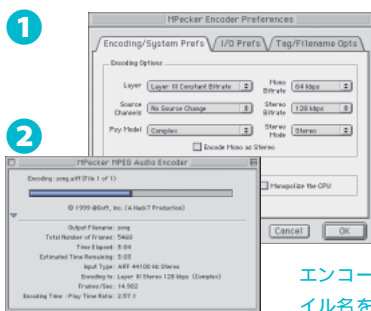
なるべく音質を落とさず、しかも小さいファイルで配布したいという場合は、WMTで圧縮してみよう。56kbps以下のサイズに圧縮しても、それほど違和感のない品質で再生できる。ウィンドウズメディアプレイヤーならHTTPプロトコル経由でストリーミング再生も可能だ。ただし現在のところプレイヤーはウィンドウズ用のものしかない。

## MP3ファイルを作るには

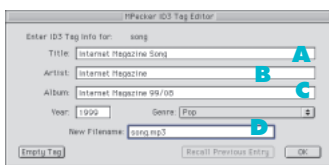
WAVファイルやAIFFファイルからMP3ファイルを作成するには、エンコーダー(圧縮するためのソフト)が必要だ。フリーソフトウェアやシェアウェアなどインターネット上で

### MPEckerでエンコードする

「File」メニューから「Preference」を選び、「Stereo Bitrate」が「128 kbps」になっていることを確認する。



「File」メニューから「Open」を選んでMP3にエンコードしたいAIFFファイルを選択すると、エンコードが始まる。



- A 曲名を入力
- B アーティスト名を入力
- C アルバム名を入力
- D MP3ファイル名を入力

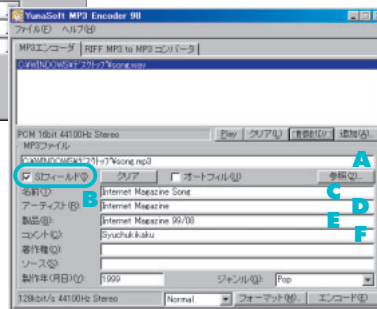
### MPEcker Encoder

シェアウェア、ベータ版

<http://www.anime.net/~go/mpeckers.html>

入手できるエンコーダーを選んで使うのがいいだろう。ここでは、ウィンドウズ用にはYunaSoft MP3 Encoder 98を、マッキントッシュ用にはMPEcker Encoderを使用した。

YunaSoftの「フォーマット」ボタンを押して「ビットレート」を「128」に、「サンプルレート」を「44100」にして「OK」を押す。



「ファイル」メニューから「入力ファイルの選択」を選んでWAVファイルを選択するか、WAVファイルをYunaSoftのウィンドウにドラッグアンドドロップする。複数のファイルを一度に選ぶこともできる。「エンコード」ボタンを押すとエンコードが始まり、MP3ファイルが作成される。

### YunaSoft MP3 Encoder 98

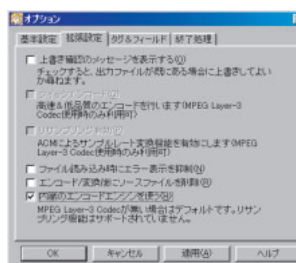
シェアウェア、3ドル

<http://www.ss.ij4u.or.jp/~tanai/yunasoft/>

### ID3タグとは

MP3ファイルの中には、「ID3タグ」と呼ばれる情報欄があり、曲名、アーティスト名、アルバム名、コメント、制作年、曲のジャンルを保存できる。ID3タグの情報は、Winampなどのプレイヤーで表示される。

### YunaSoftでエンコードする



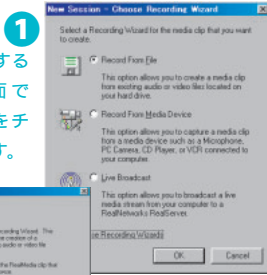
「ファイル」メニュー「オプション」「拡張設定」で「内蔵のエンコードエンジンを使う」をチェックして「OK」を押す。

- A MP3のファイル名を指定
- B ID3タグを入力するために「SI」フィールドをチェックする
- C 曲名を入力
- D アーティスト名を入力
- E アルバム名を入力
- F コメントを入力



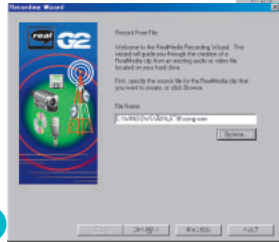
## リアルオーディオのファイルを作るには

1 Real Producerを起動すると表示されるこの画面で「Record From File」をチェックして「OK」を押す。



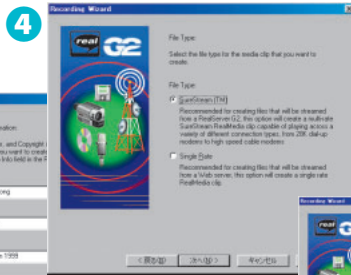
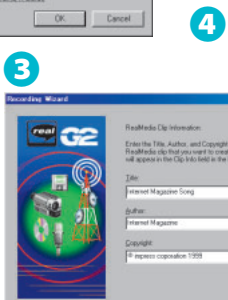
リアルオーディオ形式のファイルを作るには、リアルネットワークスのホームページで配布されている無償のReal Producer G2を使えばいい。ウィンドウズ版やマッキントッシュ

版、UNIX版があるが、ここではウィンドウズ版で説明する。さらに高度な機能を使いたい人には、29,800円のReal Producer Plus G2もある。

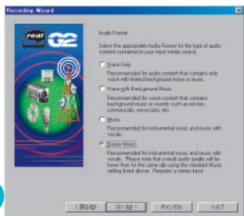


2 「Browse」を押して元になるWAVファイルを選択する。

曲名、作者名、著作権表記を入力する。



リアルシステムのサーバーからストリーミングで再生させたい場合は、「SureStream」をチェックする。このオプションでは、さまざまな通信速度に合わせたサイズのデータを1つのファイルにまとめることができる。普通のHTTPサーバーに置いてダウンロードして聴かせたい場合は「Single Rate」をクリックする。



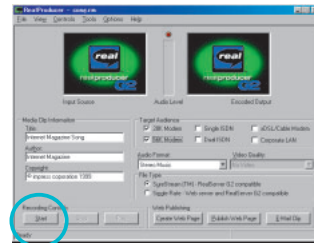
3 「Music」(モノラル)か「Stereo Music」(ステレオ)をチェックする。モノラルのほうが音質自体はよくなる。



4 保存するリアルオーディオファイルの名前を入力する。拡張子は「rm」。



5 聴かせたい相手の通信速度を選択する。作成されるファイルの大きさは、「28K Modem」では20Kbps、「56K Modem」では32Kbpsとなり、最大は「Corporate LAN」の96Kbps。前の画面で「SureStream」を選んでおくと複数の通信速度を選択できるが、無償版のReal Producerでは2つまでしか選択できない。



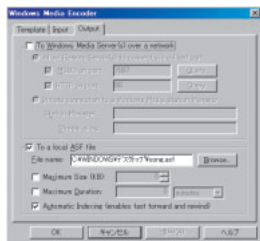
6 Real Producerの画面で「Start」をクリックすれば、リアルオーディオ形式のファイルが作成される。

## Real Producer G2

<http://www.jp.real.com/products/tools/producer/>

## ウィンドウズメディアテクノロジーのファイルを作るには

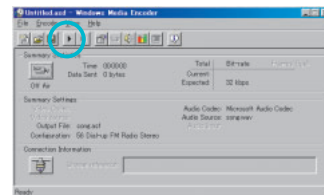
現在マイクロソフトのサイトでベータ版が公開されている無償のWindows Media Toolsを使えば、ウィンドウズメディアテクノロジーのファイル(asfファイル)を作成できる。Windows Media Toolsにはいくつかのソフトが含まれるが、asfファイルを作成するソフトはWindows Media Encoderだ。



7 「Input」タブで「AVI/WAV/MP3 File」をチェックし、「Browse」で元になるWAVファイルを選択する。



8 「Output」タブで「To Windows Media Server」のチェックをはずし、「To a local ASF file」をチェックして保存するasfファイル(拡張子は「asf」)を入力する。



9 Windows Media Encoderを起動したときにウィザード画面が開いた場合は「キャンセル」を押して閉じ、「Encode」メニューから「Properties」を選択する。「Template」タブでリスト中の「16 AM Radio」から「160 CD Transparency Audio」の間のどれかを選択する。ここでは「56 Dial-up FM Radio Stereo」を選んだ。

## Windows Media Tools

<http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/download/>

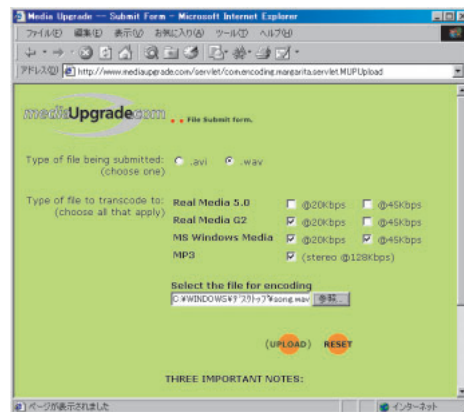
## いよいよホームページで公開

ファイルが作成できたら自分のホームページにアップロードして公開しよう。ホームページを見た人に聴いてもらうには、HTML ファイルで「<A HREF="song.mp3">」のようにオーディオファイルに普通にリンクを張れればいい。

音楽データを公開するときに注意するのは、まず何よりサイズだ。ホームページの容量の上限が5M バイトのプロバイダーでは、128kbps で5分のMP3 ファイルを置くとそれだけでいっぱいになってしまう。ホームページ容量の大きいプロバイダーに乗り換えるのがおすすだ。ASAHI ネットは50M バイト、AIR インターネ

ットでは容量は無制限だ。

音声や動画専用のホームページサービスを提供するサイトも登場している。media Upgrade.com では、WAV ファイルやAIFF ファイルをアップロードすると、自動的にMP3、リアルオーディオ、ウィンドウズメディアテクノロジーのファイルに変換してくれる。容量は100M バイトで、99 年末までは無料で利用できる。



mediaUpgrade.com  
<http://www.mediaupgrade.com/>

## 自作の曲をストリーミング再生するには

サイズの大きいファイルをダウンロードさせるようにすれば高音質の作品を聴いてもらえるが、ダイヤルアップで接続している人は時間がかかるので途中で中止してしまうかもしれない。音楽をストリーミングで再生できるようにすれば、リンクをクリックするとすぐに鳴り始めるページができる。

ストリーミング再生をするには、ホームページのサーバーにストリーミング用のサーバーソフトが用意されている必要がある。ここではNIFTY SERVEの「メンバーズチャンネル」を紹介しよう。メンバーズチャンネルではリアルオーディオとリアルビデオのコンテンツを再生でき、最新のリアルシステムG2にも対応している。

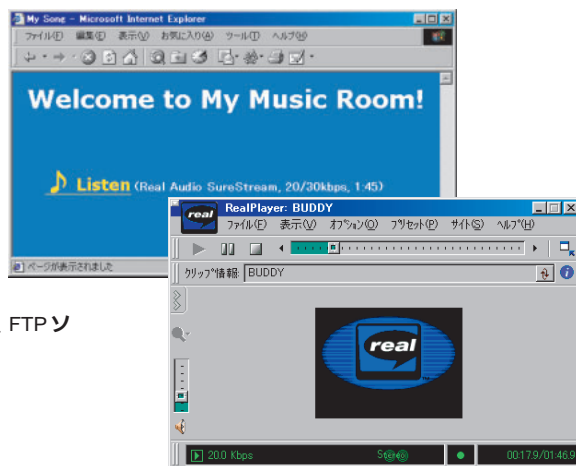
まず前のページのようにリアルオーディオ形

式のファイルを作ったら、①のような内容を1行書いたテキストファイル(メタファイルと呼ばれる)を作成し、「ram」という拡張子を付けて保存する(ここではsong.ramとした)。メタファイルの内容は、「http://～」の代わりに「pnm://～」を付けてオーディオファイル(song.ram)の位置を指定するものだ。

HTML ファイルからは②のように<A> タグを使ってメタファイルにリンクする。これで、リンクをクリックするとリアルプレイヤーがメタファイル(song.ram)を読み込み、オーディオファイル(song.ram)をストリーミング再生する。

オーディオファイル、メタファイル、HTML ファイルの3つが用意できたら、FTP ソ

フトでNIFTY SERVEのFTPサーバーの同じディレクトリー上(この例では「music」)にアップロードすれば完成だ。



### ① song.ram

pnm://member.nifty.ne.jp/username/music/song.ram

ディレクトリー名

### ② index.html

<A HREF="song.ram">Listen</A>

自分のURL名

オーディオファイル名

## サンプルファイルをホームページで公開!

インターネットマガジンのホームページでは、オーディオファイルのサンプルを公開している。また、今月号の本誌付録CD-ROMにも収録した。各種のエンコード形式やサイズを用意しているので聴き比べてほしい。

<http://internet.impress.co.jp/syuchu9908/>

CD-ROM 収録先: [A](#) Music Index.htm

注意: この記事は、本人や本人と同意の取れている人が作曲や演奏を行ったデータを公開することを前提としています。市販の音楽CDなどからコピーした音声データをホームページに掲載することは法律違反になります。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)